



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 Oak キャピタル株式会社

上場取引所 東

コード番号 3113 URL <http://www.oakcapital.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井博康

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 品田耕一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

TEL 03-5412-7474

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	462	△44.0	△382	—	△388	—	△390	—
23年3月期第2四半期	824	△52.6	△240	—	△260	—	△152	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △497百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △217百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△17.63	—
23年3月期第2四半期	△6.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,704	2,141	78.6
23年3月期	3,179	2,637	82.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,125百万円 23年3月期 2,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	56.3	320	—	310	—	310	168.6	14.00
	～7,100	～63.1	～520	—	～510	—	～510	～341.9	～23.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社のインベストメントバンキング事業は、様々な変動要因の中での投資回収を行っているため、精度の高い予想数値を算定することが困難であることから、レンジ形式による開示といたします。また、同様に投資回収の時期の予測が困難であることから、第2四半期連結累計期間の業績予想の開示は行っておりません。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	22,171,713 株	23年3月期	22,164,299 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	20,239 株	23年3月期	20,016 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	22,147,988 株	23年3月期2Q	21,939,432 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。したがって実際の業績は、経済、株式市況、その他様々な事業環境の変動に関するリスクや不確定要因により、上記記載の予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、東日本大震災からの復興活動に伴い、回復傾向がみられるものの、欧州の金融不安や米国経済の景気後退懸念を機に、日経平均株価が大幅に下落するなど、厳しい状況で推移してまいりました。

当社は、リーマン・ショック後の金融資本主義の崩壊による株式市場の変動や国内IPO市場の縮小は、従来型投資事業の終焉を示唆するものと判断いたしました。その対応として前期より中核事業であるインベストメントバンキング事業においては、収益構造の脱キャピタルゲイン化を図ることを目的に、投資事業の大幅な構造転換と新たな成長戦略への取り組みを開始いたしました。

新しい事業モデルとして、投資先に対して成長戦略の創出を行い新規事業を支援する「事業プロジェクト投資」を開始いたしました。本年9月5日に開示いたしました次世代の「デジタル郵便事業」は、投資支援先であるIT企業の株式会社フライトシステムコンサルティング及び株式会社ソフトフロント、オンデマンド印刷の東京リスマチック株式会社向けに構築した事業スキームであります。なお、当事業には、情報産業業界の国内大手である株式会社日立システムズも共同して参加し、合弁事業として営業開始いたします。

今後、デジタル郵便は次世代の通信手段として拡大が見込まれる市場であり、各社の成長に大きく寄与するものと考えております。また、当社におきましても、投資先のバリューアップによる効果や事業からのロイヤルティ収入を収益源とした新たな事業展開の柱となるものです。

アドバイザー事業においては、クライアント企業各社に対し事業戦略等に関する助言を継続して行い収入が増加いたしました。

連結業績につきましては、産業資材事業を営む投資先の日本コーバン株式会社において、震災後に落ち込んだ業績の回復を図るため、新商品投入による新規顧客開拓や仕入コスト削減に努めてまいりました。リスクマネジメント事業につきましては、営業活動の効率化に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4億62百万円（前年同期比、44.0%減）、営業損失3億82百万円（前年同期は営業損失2億40百万円）、経常損失3億88百万円（前年同期は経常損失2億60百万円）、四半期純損失3億90百万円（前年同期は四半期純損失1億52百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ、4億75百万円減少し27億4百万円となりました。減少した主な要因は、営業投資有価証券及び現預金の減少によるものであります。負債は、前期末に比べ20百万円増加し5億62百万円となりました。純資産は、前期末に比べ、4億95百万円減少し21億41百万円となりました。減少した主な要因は、四半期純損失の計上及びその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前期末と比べ、1億49万円減少し3億14百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において1億87百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純損失の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において46百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、貸付金の回収及び投資有価証券の売却によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において8百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社が公表する業績予想は、投資回収時期、収益率等の前提となる諸条件を付して計算した、当社の計画数値であります。

当社は、外部環境に影響されにくい事業構造へと転換を図るため、安定収益を生み出す取り組みに注力しておりますが、上述の「デジタル郵便事業」に続き、今後も「事業プロジェクト投資」を積極的に展開してまいります。

なお、通期連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表したものから変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	475,451	325,410
受取手形及び売掛金	140,700	128,211
有価証券	3,462	4,066
営業投資有価証券	1,400,647	1,127,768
商品及び製品	164,509	166,068
1年内処分予定の不動産	313,545	313,545
その他	62,862	49,515
貸倒引当金	△3,412	△3,146
流動資産合計	2,557,766	2,111,440
固定資産		
有形固定資産	64,304	63,490
無形固定資産		
のれん	1,317	817
その他	5,549	5,130
無形固定資産合計	6,866	5,948
投資その他の資産		
投資有価証券	469,435	447,232
その他	92,463	60,222
貸倒引当金	△34,364	△2,051
投資その他の資産合計	527,534	505,403
固定資産合計	598,706	574,841
繰延資産	23,455	18,500
資産合計	3,179,929	2,704,782
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,192	26,589
短期借入金	310,000	303,500
1年内返済予定の長期借入金	7,104	7,104
引当金	—	510
その他	125,270	142,217
流動負債合計	463,566	479,920
固定負債		
長期借入金	17,200	13,648
退職給付引当金	45,275	50,010
引当金	3,245	3,245
その他	12,891	16,001
固定負債合計	78,612	82,906
負債合計	542,179	562,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,136,143	3,136,958
資本剰余金	1,635,225	1,636,022
利益剰余金	△1,980,051	△2,370,440
自己株式	△9,809	△9,815
株主資本合計	2,781,507	2,392,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△160,927	△267,030
その他の包括利益累計額合計	△160,927	△267,030
新株予約権	5,215	5,215
少数株主持分	11,953	11,045
純資産合計	2,637,749	2,141,955
負債純資産合計	3,179,929	2,704,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	824,963	462,016
売上原価	580,940	372,514
売上総利益	244,023	89,502
販売費及び一般管理費	484,093	472,337
営業損失(△)	△240,069	△382,834
営業外収益		
受取利息	3,986	2,240
受取配当金	540	1,234
その他	519	2,134
営業外収益合計	5,046	5,608
営業外費用		
支払利息	5,198	5,058
社債発行費等償却	4,702	4,993
為替差損	14,888	105
その他	575	637
営業外費用合計	25,364	10,795
経常損失(△)	△260,388	△388,021
特別利益		
貸倒引当金戻入額	116,096	—
特別利益合計	116,096	—
特別損失		
固定資産除却損	13	39
投資有価証券売却損	—	790
関係会社株式売却損	36	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,326	—
特別損失合計	5,376	829
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,669	△388,850
法人税、住民税及び事業税	1,827	3,097
法人税等調整額	862	△651
法人税等合計	2,690	2,445
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△152,359	△391,296
少数株主利益又は少数株主損失(△)	211	△908
四半期純損失(△)	△152,571	△390,388

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△152,359	△391,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,807	△106,103
その他の包括利益合計	△64,807	△106,103
四半期包括利益	△217,167	△497,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,378	△496,491
少数株主に係る四半期包括利益	211	△908

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,669	△388,850
減価償却費	5,984	5,275
のれん償却額	1,452	499
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△116,096	△32,579
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,450	510
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3,139	4,735
受取利息及び受取配当金	△4,526	△3,474
支払利息	5,198	5,058
有形固定資産除却損	13	39
投資有価証券売却損益(△は益)	—	790
関係会社株式売却損益(△は益)	36	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,326	—
売上債権の増減額(△は増加)	△37,369	12,201
たな卸資産の増減額(△は増加)	11,531	△1,558
仕入債務の増減額(△は減少)	11,372	9,976
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△72,050	168,978
未収消費税等の増減額(△は増加)	△1,567	△1,619
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,475	△3,230
その他の資産の増減額(△は増加)	2,540	16,257
その他の負債の増減額(△は減少)	59,470	18,494
その他	19,949	5,907
小計	△266,467	△182,588
利息及び配当金の受取額	3,849	3,018
利息の支払額	△5,207	△5,313
法人税等の支払額	△8,293	△2,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	△276,118	△187,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	19,210
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△36	—
貸付けによる支出	△30,000	—
貸付金の回収による収入	44,200	27,600
出資金の回収による収入	—	135
投資活動によるキャッシュ・フロー	14,163	46,945
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△6,000	△6,500
長期借入金の返済による支出	△23,552	△3,552
新株予約権の行使による株式の発行による収入	99,468	1,266
自己株式の取得による支出	△323	△30
自己株式の売却による収入	49	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,643	△8,810
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,121	△236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,433	△149,437
現金及び現金同等物の期首残高	840,349	463,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	632,916	314,476

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インベ スト メント バン キング 事業	アド バイザ リー 事業	産業 資材 事業	リス クマ ネ ジメ ント 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	370,195	47,099	343,513	63,854	824,663	300	824,963	—	824,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	863	—	863	—	863	△863	—
計	370,195	47,099	344,376	63,854	825,526	300	825,826	△863	824,963
セグメント利益又は 損失 (△)	△252,389	5,301	6,069	1,083	△239,935	△755	△240,691	621	△240,069

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インベ スト メント バン キング 事業	アド バイザ リー 事業	産業 資材 事業	リス クマ ネ ジメ ント 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	101,452	49,600	256,397	54,567	462,016	—	462,016	—	462,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	101,452	49,600	256,397	54,567	462,016	—	462,016	—	462,016
セグメント利益又は 損失 (△)	△353,392	△12,848	△22,384	6,096	△382,529	△642	△383,171	337	△382,834

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。